

お西さん

1・2 2026
令和8年



月忌参りお休みのお知らせ
令和8年1月1日(木)~10日(土)(年始参り期間のためお休み)



「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎ (0138)23-0647

ホームページアドレス <http://hongwanji-h.h-tk.jp>



退任のごあいさつ

前輪番

尾井 貴童



着任のごあいさつ

輪番

神田 憲量



このたび、二〇二五（令和七）年十月二十二日付を以て、本願寺函館別院及び本願寺江差別院輪番並びに函館龍谷学園理事長を退任いたしました。緊張感をもつて、別院

が興隆し御法義が繁盛するように、また可愛らしい手を合わせほとけの子が一人でも多くと、力を尽くしたつもりではありますが、至らぬ点も多く、もつと出来たのではないかと恐縮に存じます。初めてのお出会いであたた方々にも親切に接していただき、皆様の温かいお言葉にどれほど支えられたかしれません。あわただしい中での築地本願寺への異動でございましたので、皆様には十分なご挨拶ができない今までの退任となりました。

ここ函館の地において、堀川乗經師をはじめとする数多くの先人の方々、歴代のご輪番並びに門信徒の皆様のご苦労とご努力の中、お念仏の教えを伝えそして弘め、今の函館別院へと繋がっている歴史を思う時、改めて輪番として北海道（函館別院）の地で宗務に携わさせていただくこと、その責務の重大さに身の締まる思いであります。浅学非才の身ではあります、新たな決意のもと、銳意奨励いたす所存であります。皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げまして、着任のご挨拶とさせていただきます。

最後に、皆様どうぞご法駄ご自愛くださつて、お念仏御相続ください。
二〇二四（令和六）年八月に着任以来約一年二か月の間、本当にありがとうございました。

合掌

このたび、二〇二五（令和七年）十月二十二日付をもちまして、尾井貴童前輪番の後任として、本願寺函館別院輪番並びに本願寺江差別院輪番を拝命いたしました。

振り返りますと、一九八八（昭和六三）年十月に函館別院に奉職させていただき、二〇一〇（平成二十二）年十二月に、ご本山（大谷本廟）へ転任するまでの間、約二十二年間ここ北海道の地で、皆様にお育てにあずかりました。

また、十五年ぶりに函館の地でお勤めさせていただくことになり、ご門徒の皆様、組内寺院のご住職様のお顔やお姿を拝見し、懐かしさと喜びを感じるここ数日であります。

ここ函館の地において、堀川乗經師をはじめとする数多くの先人の方々、歴代のご輪番並びに門信徒の皆様のご苦労とご努力の中、お念仏の教えを伝えそして弘め、今の函館別院へと繋がっている歴史を思う時、改めて輪番として北海道（函館別院）の地で宗務に携わさせていただくこと、その責務の重大さに身の締まる思いであります。浅学非才の身ではあります、新たな決意のもと、銳意奨励いたす所存であります。皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げまして、着任のご挨拶とさせていただきます。新しい年をお迎えいたし、本年もお念仏申させていただける身であることを感謝し、皆様と共にお念仏のかおる日々を送らせていただきたいと思います。

ようこそ
函館別院へ

常例布教

布教使さん紹介



本願寺派布教使
北海道教区 函館組

西教寺 吉村 善充師

1月12日(月)～15日(木)

2月12日(木)～15日(日)

佐賀教区 武雄組 正法寺 渡辺 有師

まいりましょ。
道を一緒に親鸞聖人にお尋ねして
まいりましょ。

◆1月16日(金) 輪番法話

◆2月16日(月)は職員法話

新年明けましておめでとうございます。わたくしは八雲町西教寺の吉村善充と申します。本願寺函館別院様にはご輪番始め、職員の方々やご門徒の皆様に平素より一方ならないお世話になつております。この度は、新年早々の常例のご法座にお取り次ぎをさせて頂くご縁を頂戴致しました。よろしくお願ひ申し上げます。

ところで、ただ今冒頭に「新年明けましておめでとうございます」とご挨拶を申し上げました。その反対に年末には、「喪中につき：」といふ年賀欠礼の葉書も何枚か頂戴しました。大事な方をなくしてまだ間もない身としては、なかなか「おめでとう」などという気分になれないというのが世間一般の考え方なのでしょう。しかし御歳八十歳の時に関東の門弟に宛てたお手紙で、親鸞聖人は明法坊というお弟子が亡くなられたと知つて「めでたきことにて候へ」と仰せになつておられます。大人の死をただ嘆き悲しむだけでは、どれだけ丁寧に喪に服してみたところで、人生の根本問題の真の解決には至りません。もつとも、凡夫の心というものは一時の感情の高まりで終わつてしまいがちですから。

それに対して大事な人の死を「めでたきこと」として歓べる世界がある。それがお念仏の無碍の一道なのです。いつ何が起きるか知れないこの婆婆を生きる私たちです。大事な方の死を、いやそれどころか、この私自身の死をも「めでたきこと」と頂き、歓ぶことができたならどれだけ素晴らしいか知れません。その道を一緒に親鸞聖人にお尋ねしてまいりましょ。

ご祥月法要及び「新年餅つき大会」開催!!!

1月14日～16日の3日間 各日13時半より「ご祥月法要」がございます。

宗祖親鸞聖人の御命日に際しての法要です。また 16日 の11時からは

この法要の記念行事として 「新年餅つき大会」を開催いたします。

どなたでもご参加ください!!!



別院とご縁のある方が一堂に会し、歓送迎会を催すことができたのは八年ぶりのことでした。テーブル各所に久しぶりの再会があり、話の花が咲いている様子がありました。

本願寺函館別院並びに本願寺江差別院輪番の就退任にあたり、輪番歓送迎会を十二月十一日に国際ホテルにて開催いたしました。尾井前輪番の築地本願寺宗務長就任、そして神田輪番の十五年越しの函館への帰還へ六十名の方にご出席を賜りました。

輪番歓送迎会

謹賀新年

令和8年

今年の職員の一言は…

「私の一冊」

新年のご挨拶を
申し上げます

「私の一冊」というよりは、お勧めの一冊です。それは、本願寺出版社発行の「伝承ノートみちくれまで」とこれから私のためのノートです。この本は、尾井前輪菴が函館別院在職中にお勧めしていたものであり、また、以前私が本願寺に奉職していた部署で、約3年の歳月をかけて企画編集の末に発刊されたものです。これまでの私のこと、これから私のこと、仏事・法事について書き込むことができるノートです。ただのエンディングノートではなく、浄土真宗のこと、阿弥陀さまのこと、そして、自分が大切にする「つながり」を改めて確かめ、自分の思いを引き継ぎたい方へ伝える手段として活用していただきためのノートです。お寺さんと門徒が一緒に作り上げることを目指して企画編集されました。別院に在庫がありますので、興味のある方はお声掛けください。

一般職員
葛谷 教順
奈良県
大和高田市出身

私の一冊は齋藤一人の「一日語(令和編)」という本です。手に取ったきっかけは大人になってだんだん本が読まなくなってしまったと思い、本屋さんは、寄つ時にこれならと思い購入しました。「一日語」とあるように毎日「言づ」齋藤一人さんの言葉との解説またはファンの感想という構成で、1月1日～12月31日まで1年分の言葉が詰まっています。1日1ページと考えると今の私でも手軽に読めます。仕事や生き方、男女間の事、成功や悩みへ対処などそれぞれのテーマで前向きになれるような「言葉」が書いてあります。余裕があれば何ページも読み進めたいですし、お気に入りの言葉のページを見つけたらそこを何度も読み返しても良いですし、誕生日やイベントなどのページを開いて読んでみるのも面白いです。読書が苦手な人でも好きな人でも長く楽しめる一冊ではないのかなと思います。

一般職員
武澤 大智
長万部町出身

私の一冊といいましょうか、今後じっくり読んでみたい一冊は、山崎豊子さんの『大地の子』です。昨年は戦後80年という節目の年がありました。日本全国で非戦平和についての法要や催しがあったことは記憶に新しいところです。この作品は家族で中国に渡り戦争孤児となつた陸一心の波乱万丈の半生を描いた作品です。終戦50年にあたる1995(平成7)年にはドラマ化もされ、こちらは私も見たことがあります。

当時のことを知る人、語る人がどんどん少なくなっていく中、本や映像で当時のことを学んでいくことはこれからも大切だと思います。私も原作を一度読んでみたいです。どうぞ皆さま本年もよろしくお願ひ申しあげます。

副輪番
臼井 頤生
音更町出身

副輪番(非常勤)
吉村 教史
今金町出身

私は歴史小説を読みます。特に戦国時代や幕末が好きです。この時代の人たちの命との向き合い方、逆境を乗り越える術、大切な人を守り抜く覚悟、義を重んじ信念を貫く心、等々私に足りていなさいたさんのことに心が震えます。

今読んでいる「私の一冊」は和田竜さんの『最後の一色』です。

本年もよろしくお願ひ致します。

「私の一冊」は三崎律日さんの『奇書の世界史』です。古今東西、時代によって良書とされたもの、広くしられたもの、人々の生活に多大な影響をあたえながら、しかし現在ではトンデモ書として扱われたり、悪書として忘れられたりしている書籍を集めた一冊です。

この本で、時代時代の価値観の移り変わりや、常識の不確かさを知ることができました。なおかつ一冊の読み物としても非常に面白い。

副輪番
稻岡 義隆
滋賀県日野町出身

デール・カーネギーの『人を動かす』という本です。この本を読んだのは前職の営業時代のことです。とある会社に入社する直前、入社前の説明会の時に渡された本がありました。どのようにして人との関わりを持つていくか、どんな言葉や態度がコミュニケーションの上で大切か等、営業にはもちろん、僧侶となつた私にも大切なことが多く書かれています。実践できているかは不明です。

一般職員
野川 大真
京都府
京丹後市出身

私の一冊は、〈住野よる〉さんの「君の隣臓をたべたい」です。この作品はドラマや映画にもなつて一世を風靡しました。中でも原作の小説がお薦めです。

物語の中で主人公とヒロインの何気ない日常会話が幾度となく出てきますがそれを読む度に、幸せというのは特別な出来事をいうのではなく、日常のありふれた一コマ一コマにあるんだな。と気づかせてもらった一冊です。小説があまり好きではない私でもあつという間に読みました

いう間に読みでしまった作品です！



一般職員
渡邊 龍誠
北斗市出身

みなさま新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

私の一冊は『卒業式まで死にません』という本です。大学生のときに読んだのですが、人間の複雑さや人生の難しさを考えさせられる本でした。この本をきつかけに人との向き合い方を試行錯誤するようになつたように感じます。



一般職員
柴山 祐慈
熊本県
玉名市出身

高村光太郎の『智恵子抄』です。教科書に「レモン哀歌」が載っていたのがきっかけです。

私の一冊は『卒業式まで死にません』という本です。大学生のときに読んだのですが、人間の複雑さや人生の難しさを考えさせられる本でした。この本をきつかけに人との向き合い方を試行錯誤するようになつたように感じます。

桑田佳祐さんの歌詞の中に「あどけない話」が出てきます。ご存知の方もいらつしやるのではと思います。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

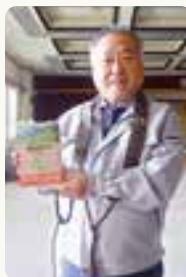
私の一冊は古い本ですが「夏山ガイド」という本です。だからと言つて決して登山が好きという訳では無く、私はこの本を見て、山の登山入口を調べて山の向きや、沢の深さや、形を知つて山菜を取りに山へ入山するための本として利用しています。

最近は、熊が多く身近になつて来てますから、入山するときは鈴と釜と熊スプレーを忘れずに。

今年もよろしくお願ひ致します。



事務職員
山崎 三和
函館市出身



用務職員
石川 光樹
七飯町出身

◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



私の一冊は『嫌われる勇気』という本です。私が僧侶になる前、大学生の時にこの本を読みました。アドラー心理学というものについて描かれたもので、人間関係などで挫ける若者や自分に自信が持てない人へむけて「勇気」を持つことの大切さがわかる一冊になっています。仏教的なものとは全く違いますが、心理学などに興味のある方は面白い一冊かと思います。



一般職員
打本 聰磨
札幌市出身

私の一冊は『モモ』を紹介したいと思います。最近読んだ本で、時間を無駄にしているのではないかと思うことがあります。何かヒントがないかと読んでみましたが、思っていた話の内容とは違つておりましたが、心の豊かさとは何かを気づかせてくれる作品でした。児童文学ですが大人が読んでも面白いと思います。



事務職員
白戸 利枝

◆責任役員・総代
本間 温子

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊 威
小原 光一

◆ボーライスクアウト函館第2団团委員長
加賀 康彦

◆覚信尼会 会長
見付 由紀子

◆仏教婦人会 会長
辻廣 ヤス子
石塚 之宏



◆門徒総代
勝木 俊彰
森川 基嗣
渡邊

婦人会 壮年会 覚信尼

三会合同報恩講

スナップ



第22回

食べて！飲んで！寬いで！学んで！ 愉しいひとときありがとうございました！

ほのぼのお念佛の集い

とき 令和7年 12月4日(木)
ところ 湯元啄木亭



12月4日に湯川の啄木亭で「ほのぼのお念佛の集い」が行われました。今回で22回目の開催となりました。主催は函館組実行委員会の方々で我々別院職員もお誘いいただき、今年は職員全員で参加させていただきました。

インフルエンザが流行っており、参加人数が少ないので心配もありましたが、68名の参加があり大いに盛り上がりました。

また、講演を名和康成氏にしていただき、阿弥陀如来という仏様、浄土真宗の教えについて、わかりやすく、おもしろく、ありがとうございました。

門信徒の皆様とお酒を飲む機会というのも多くありませんから、ぜひ、来年はたくさんの別院の門信徒の方々と共に「ほのぼのお念佛の集い」に参加させていただきたいと思いました。



暮らしの中の挿む心・敬う心を大切に、
ご宗旨に添った伝統的なお佛壇から、
リビングに似合う家具調まで…。
幅広い品揃えで質の高い
佛壇・神具をお届けして
おります。
各種提灯を展示しています。
ご来店お待ち申し上げます。



(株)めもりある大師堂
函館店

函館市若松町4番11号
TEL. 0138-27-2271 FAX. 0138-27-2285

家族葬向け小規模ホール セレモニーハウス桐花

施設のご紹介

函館駅前
5号線沿い

- ◆函館駅から徒歩数分の好立地。
- ◆30~60人の家族葬に最適なメインホール。(椅子席)
- ◆エレベーター完備。
- ◆病院等から直接リビング(安置室)へ御遺体搬入可能。
- ◆少人数であればリビングでの葬儀も可能。
- ◆ご遺族の宿泊可能。風呂・台所完備。

お問い合わせ・申し込み

有限会社小田桐葬儀社
TEL(0138)22-1684

函館市若松町23-9

年中無休
24時間
体制

お悔やみ
申し上げます



十月十七日～十二月十六日現在



永代経懇志
ありがとうございます

十月十一日～十二月十六日現在

（0138）23-0647
あて先
函館市東川町12番12号
本願寺函館別院内お西さん担当迄
お気軽にお寄せ下さい。



仏教に関する質問
趣味の絵や写真
表紙
俳句や短歌、お便り
大募集

鍛治 練合 陽子

生命みな 包み真白な 雪の朝

ご門徒さんから頂いた作品を紹介させて頂きます。
ちよつとひといき

お通夜・お葬儀をお寺で

西別院文化会館でお葬儀会場としてご使用できます。
詳細はお寺にお問い合わせください。

ホームページと広告印刷物のデザイン

〒041-0801 函館市桔梗町379-26
Tel 0138-46-6100
Fax 0138-46-6200
mail: info@sainet.co.jp
<https://www.sainet.co.jp>

彩紋

一周忌	令和7年(2025年)
三回忌	令和6年(2024年)
七回忌	令和2年(2020年)
十三回忌	平成26年(2014年)
十七回忌	平成22年(2010年)
二十五回忌	平成14年(2002年)
三十三回忌	平成6年(1994年)
三十七回忌	昭和2年(1990年)
五十四回忌	昭和52年(1977年)
百回忌	昭和2年(1927年)
二十三回忌	平成16年(2004年)
二十七回忌	平成12年(2000年)
については、どうぞご相談ください。	

年忌早見表 令和8年

0138 27-2424
24時間お好きなときにつでもどうぞ

テレフォン法話順番表

- 1月 1日(木)→1月10日(土)…神田(輪)
- 1月11日(日)→1月17日(土)…臼井(副)
- 1月18日(日)→1月24日(土)…1月常例講師
- 1月25日(日)→1月31日(土)…稻岡(副)
- 2月 1日(日)→2月 7日(土)…葛谷
- 2月 8日(日)→2月14日(土)…野川
- 2月15日(日)→2月21日(土)…武澤
- 2月22日(日)→2月28日(土)…2月常例講師

当社オリジナル商品

簡単納骨 墓石



- 新しくお墓を建てたい
- お墓を改修したい
- お墓を綺麗にしたい
- 法名を彫刻したい
- 花立を直したい
- お墓じまいをお考えの方等…

株式会社 昭和石材

〒040-0072 函館市亀田町22-13
TEL 0138 41-9422 E-mail: s.showa@gray.plala.or.jp

お墓のことなら
何でもご相談ください

学校法人認定こども園

龍谷幼稚園だより



生 活 発 表 会

ゴーゴー! ぼたん電車!

次は～
OO駅前～!

ぼたん組さんの好きな遊びをたっぷり詰め込んだ生活発表会♪発表会に向けてみんなで話し合いをすると…「あれやりたい!」「あれ作りたい!」と大盛り上がりで、楽しみな気持ちや当日への期待が高まる様子が見られました!ぼたん組の活動を振り返ると、「親子遠足で

乗った市電が楽しかった!」という声が多くあがりました。

そこから、「電車に乗るといろんな駅があるよね!」ということに気がつき、「みんなの好きな遊びを駅にしよう!」と演目が決定しました。

みんなの好きな遊びはなあに?

またまたみんなでりゅうこくタイムです♪

♡「乗り物が好き!」「歌ったり踊ったりすること!」

♡「恐竜になりたい!」♡「消防署駅前を作りたい!」

と好きな遊びやアイディアがたくさん出ました。話し合いの中で友だちの意見を「それいいね!」と認め、尊重し合う姿が印象的でした。駅が決まると、廃材や段ボールを使って電車ごっこに必要な物作りがスタートしました。



誰かが「電車の中のつかむところ作りたい!」「運転席作りたい!」というと「それつり革ね!」「電車のハンドルって丸じゃないよ!」と、互いの知識を教え合い、「電車ごっこを楽しむ」という目的のもと協力し合うぼたん組さん。

運転手さん役になると自然と声を低くしたり、つり革を持つとガタンゴトン揺れる真似をしたり、電車内の再現率が高いのもポイントです!

当日は、好きな遊びを詰め込んだ内容ということもあり、たくさんのお客さんの前で元気いっぱい歌ったり、踊ったり、役になりきって発表会を楽しんでいました♪初めは緊張した様子も見られましたが、近くに友だちがいることが心強いやうで、顔を見合わせてニコニコ笑ったり、出番を教え合ったり、クラスの団結を感じました★

今回の経験を日々の保育に活かし、子どもたちが大好きな乗り物の知識を増やしたり、何かになりきることを楽しんだりしていきたいと思います。

年中ぼたん組担任 加賀あかり



ぜひフォローを
お願いします!



アカウント名
ryukoku_hakodate



インスタグラム
開設しました!